



南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成31年 1月 8日

校長 福田 俊彦

夢や希望を大切に思う

校長 福田 俊彦

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。昨年は、多くの場面で本校の教育活動へのご理解とご支援をいただきました。誠にありがとうございました。本年も皆様のお力添えのもと「みんなの子供をみんなで育てる学校」「子供が子供を育む学校」「子供が生活を創る学校」として教育活動を進めて参ります。引き続き宜しくお願ひいたします。

さて、年末に思い起こしたことがありました。夢や希望の話です。このような場面です。湖畔で過ごす親子のやりとりです。お父さんが子供に聞きます。「どんな夢をもってる？」子供は自分の夢を話します。その後です。「お父さんの夢は何？」どきっとするお父さんの顔が先を見据える笑みに変わったのを覚えています。夢や希望をもつことに年齢は関係のないことなんでしょう。

そして、多くのスポーツを観戦する機会からも、夢や希望をもつことが人の生き方と強く関わっているかを感じ取ることがありました。これまでの頑張りやスポーツへの思い。ともに力を尽くしてきた恩師や仲間への思い。支えてくれた家族への思い等。その人の心が浮かび上がってくる場面が多様にありました。

夢や希望をもったからといって、それが必ずしも叶うとはかぎりません。しかし、夢や希望をもたなければ、夢や希望が叶うことはありません。自分の真なる夢や希望がもてるのであれば、それを叶えようとする努力があるのであれば、叶っても叶わなくても、そこまでの道のりで、生き方に関わる大きな学びがあるのではないのでしょうか。だから、夢や希望が大切に思えるのです。

3学期の始業式、子供たちに伝えた話です。

自分にとっても、仲間にとっても、そして、家族にとっても、よりよい生活を創っていくために大切なことはなんなのでしょうか。それは、夢や希望をもつことです。

夢や希望に向かって頑張っている人を見ると応援をしたくなります。応援されると頑張ろうとする気持ちが続きます。持久走のことを思い出してみましょ。校長先生は、何人もの人から、持久走大会で自分のめざす姿を聞くことができました。時間を決めている友達。順位を決めている友達。最後まで走ることを決めている友達。それぞれめざすところは違いますが、それらは一人ひとりの夢であり、希望です。夢や希望があるからこそ、頑張る人も、それを応援する人も出てきます。そして、夢や希望が人と人との間を温かくし、繋いでいきます。

きっと、夢や目標に向かって真剣に頑張っているみなさんの姿は、仲間、家族の心を温かくしているんです。そして、自分の心も温かくするはずですよ。だから、夢や希望をもつことが大事ではないですか。

子供の夢や希望は、大きく広がっていくものです。そして、夢や希望を通して人の温かな心に触れたことは、年齢を重ねていっても夢や希望をもち続けることにつながります。夢や希望をもつことで、生活が充実することを体験したからです。自分を高めるエネルギーなることが分かったからです。友達の夢、希望を知り、励まし合うことから、人の役に立つこと、仲間の大切さを学びます。南町小学校では、教育活動を通して子供たちが、夢や希望に向かっていく姿を大切にしていきます。保護者、地域の皆様には、夢や希望を抱く子供たちにご支援をいただけますようお願いいたします。